

# 南大野小学校 ICT 活用授業実践例




報告日：令和4年 2月 28日

授業者： 情報教育担当者 各学級の担任

学年：全学年 ■プログラミング教育

活用した ICT 【○】 Chromebook (内容：プログラミングソフトのアプリを操作 )  
 【○】 レゴ Wedo 2. 0 【○】 レゴブロック  
 【○】 Scratch  
 【○】 Viscuit

## ■本授業での ICT の活用場面

学年/ソフト	レゴ Wedo 2. 0 	Scratch 	Viscuit 
1年	☆特別活動 「光るカタツムリを作ろう」 レゴ【光るカタツムリ】	●音楽科 「とんくるりん ばんくるりん」	●特別活動 「にんじゃをプログラミング」 ●☆図工 「カラフルデジタルアート」
2年	☆生活科 「電子扇風機おもちゃ作り」 レゴ【扇風機】	●音楽科「楽きでドレミと なかよくなるろう」	●国語「スイミーの話を読んで、 感想を書こう」
3年	総合「電動車椅子を動かそう」 レゴ【マイロ】	総合「信号機プログラミング」	理科「昆虫の変態をプログラミング」 ☆図工「レインボーデジタルアート」
4年	総合「エコ扇風機作り」 レゴ【モーションセンサー】	●算数「がい数の表し方」 ●特別活動「ドラゴンを倒せ」	
5年	社会科「自動車開発者」2h レゴ【モーション・チルトセンサー】	●算数「偶数と奇数」 ●特別活動「ドラゴンを倒せ」	☆図工「レインボーデジタルアート」
6年	●社会科「災害からわたしたちを守る政治」2h レゴ【モーション・チルトセンサー】	●☆算数「関係をみつけて」	
あじさい			特別活動「お弁当を作ろう」 図工「虹の模様作り」(レインボーデジタルアート)

●相模原プログラミングプランを参照 ☆情報担当がT1で授業 2h・・・2時間続き

■感想【良かった点・ふりかえりや改善点等】

- 子どもが日常的に chromebook 操作をしていることや前の学年までのプログラミングの積み重ねがあったことで、プログラミングによる試行錯誤の時間を十分に確保することができた。
- レゴ Wedo2.0を活用した授業において、発達段階に合わせた教材を構成。来年度も継続。
- レゴ Wedo2.0で扇風機おもちゃ作りに取り組む様子を見て、「子どもたちが夢中になっていたので、教材研究をして、自分自身で3学期に授業実践をしてみたい。」と、レゴ Wedo2.0を進んで自宅に持ち帰る担任の主体的な姿勢が素晴らしかった。
- 低学年向けの Viscuit 職員研修を行ったことで、学級担任が授業実践しやすくなった。
- 昨年度から新たな教材を開発して実践したことが今年度も継続して取り組む学年があった。今年度に取り組んだ新たな教材も来年度に継続するように計画を立てていきたい。
- 各学年で1名または昨年度の同学年の担任がプログラミング授業の詳細を知っていれば順調に取り組めるが、そうでない学年は情報担当が事前に研修を行わないと厳しい面がある。年度当初に各学年の子どもや担任の実態を把握し、計画的に職員研修を行わないといけない。



【自分の作品を紹介する様子】



【協力しながら作る様子】



【弁当の組み合わせを考える様子】